

平成26年度 事後評価点検表（内部評価）

事業名	泉州海岸 福島地区 海岸整備事業
担当部署	港湾局 計画調整課 事業グループ (連絡先 0725-21-1411)
事業箇所	阪南市尾崎町 地先
内容	<p>当地区の護岸は昭和30年代後半に整備されており、兵庫県南部地震以降の調査により液状化の可能性が高い箇所となっている。このため、護岸の液状化対策を施して背後住民の生命財産を守り、同時に自然干潟や砂浜等、府下でも有数の貴重な自然環境を保全しながら、地域レクリエーション活動の場としての利用を図る。</p> <p>海岸整備事業            事業実施延長 L=760m            護岸改良 760m (護岸の耐震補強)            離岸堤延伸 1式</p>
関連事業とその現状	—
社会経済情勢の変化	<ul style="list-style-type: none"> <li>国による最大クラスの地震動・津波高さ等の推定結果が公表され、大阪府想定的大海溝型地震の津波高を上回ることが判明。大阪府防災会議に「南海トラフ巨大地震土木構造物耐震対策検討部会」を設置し、府域の土木構造物への影響について点検を実施し、必要な対策の報告が行われた。</li> <li>東日本大震災発生以降、津波・高潮対策等防災への府民の関心がよりいっそう高まっている。</li> </ul>
事業実施による自然環境の変化	離岸堤改良を行い荒天時の越波が抑制された結果、砂浜の形成が促進され、自然環境の回復が進んでいる。
最終評価時の意見 具申（付帯意見） と府の対応	<p>【最終評価時の意見】 —</p> <p>【府の対応】 —</p>

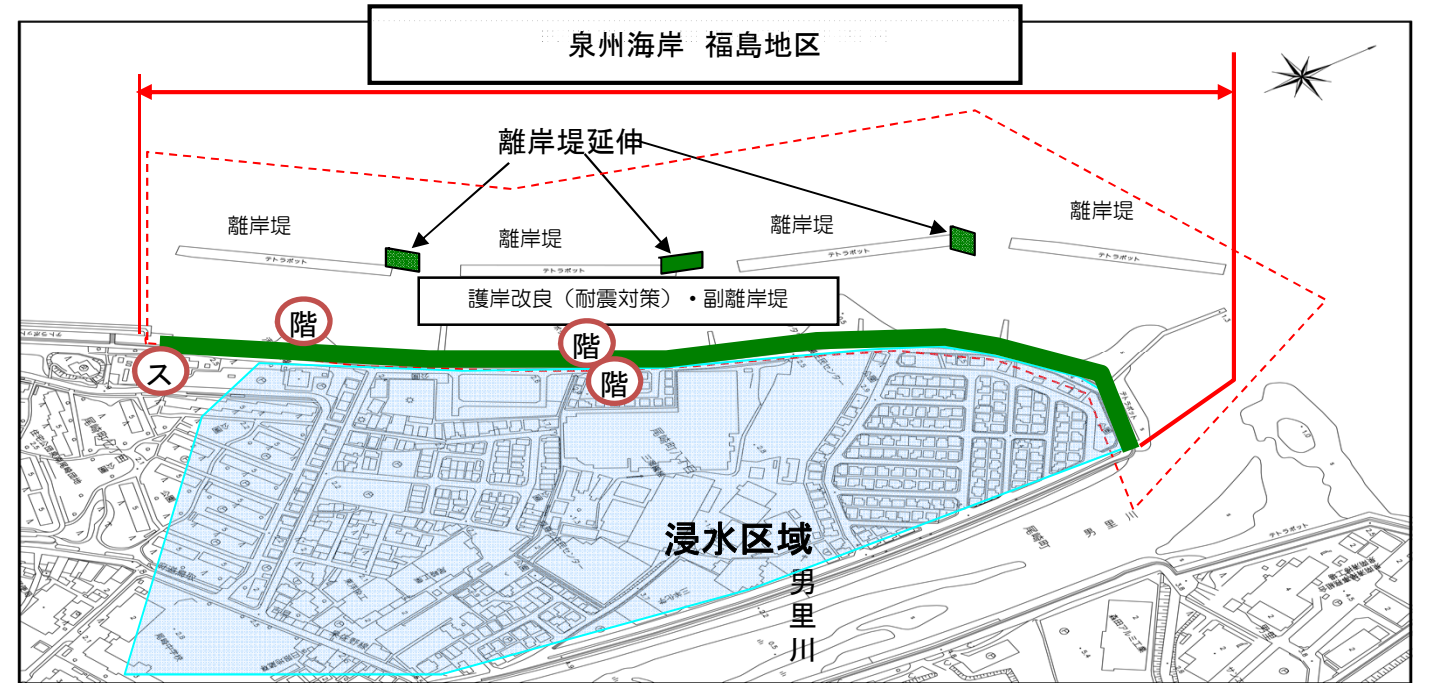
	【最終評価時点 H15】	【完了時点 H22】	【分析】
事業費	14.8億円 (国：7.4億円、府：7.4億円)	6.7億円 (国：3.4億円、府：3.4億円)	<p>【事業費】 工法等の変更により事業費減 (事業費減項目) ・鋼矢板の規格・打設工法の見直し ・関係者との協議により離岸堤改良のコンパクト化 ・工事入札差金等</p>
①事業期間 ②採択年度 ③着工年度 ④完成年度	10年 平成17年度 平成17年度 平成26年度	6年 平成17年度 平成17年度 平成22年度	<p>【期間】 鋼矢板工法、離岸堤改良の変更により事業期間短縮</p>
定量的効果 (費用便益分析等)	<p>【効果項目】 環境保全効果 適切な海岸利用効果 津波防護効果</p> <p>【分析結果・環境利用便益】 ・B/C=1.26 B=16.5 C=13.0</p> <p>【分析結果・津波防護便益】 ・B/C=1.69 B=21.9 C=13.0</p> <p>【算出方法】 ・CVMによるアンケート調査による便益算定(環境利用便益) ・浸水域の防護資産額による便益算定(津波防護便益)</p> <p>【受益者】 背後住民等</p>	<p>【効果項目】 環境保全効果 適切な海岸利用効果 津波防護効果</p> <p>【分析結果・環境利用便益】 ・B/C=2.01 B=16.5 C=8.2</p> <p>【分析結果・津波防護便益】 B/C=3.82 B=31.4 C=8.2</p> <p>【算出方法】 CVMによるアンケート調査による便益算定(環境利用便益) ・浸水域の防護資産額による便益算定(津波防護便益)</p> <p>【受益者】 背後住民等</p>	<p>【定量的効果】 ・工事費縮減の結果B/Cが向上した。</p>
事業効果の定性的分析 (安心・安全、活力、快適性等の有効性)	<p>【効果項目】 護岸改良を実施することで東南海・南海地震津波等による災害を防ぐことができ、また、自然干潟や砂浜を保全して海と親しめることのできるスペースとして整備を行うことで人々の憩いの場となり、背後住民の居住や生活への活力を与え、地域の発展に寄与するとともに快適性を向上させる。</p> <p>【受益者】 背後住民等</p>	<p>【効果項目】 同左</p> <p>【受益者】 同左</p>	<p>・目的を達している。</p>
その他特記事項	なし		
評価結果 (事業効果の発現状況等)	<p>・東南海・南海地震津波等に対する安全性を確保し、初期の目的が達成された。            ・学識経験者及び地元関係者等の参画によりワークショップを開催し、海と親しめるスペースの整備や、自然環境の回復に関する意見を反映することで、本事業目的である自然環境の保全が達成された。</p>		
今後の同種事業に対する改善措置等	<p>・最大クラスの津波が防潮堤を越え、背後地に甚大な被害が発生する箇所については、直ちに倒壊しない「粘り強い構造」を検討する必要がある。</p>		

# 平成26年度 事後評価 (海岸事業)

## 事業箇所図



## 平面図



## 現況写真



## 標準断面図

### 離岸堤の延伸 (既設消波ブロックの再利)

